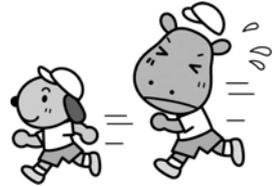


教育広報

いわみざわ市の教育

…特集… いわなびオープン
郷土科学館で楽しく学ぼう



記念式典でのテープカット



フラワーアレンジメント



和琴の練習



装飾品の作成

4 月 1 日、生涯学習センター「いわなび」がオープン。
4 月 6 日にはオープン記念式典が行われました。
市民の皆さんの学びをサポートする場として、多くの
方々に利用されています。

岩見沢市教育委員会ツイッター

市教委 HP の更新情報や、イベ
ント情報などをつぶやいています！
ぜひ、フォローしてください。
http://twitter.com/iwamizawa_edu



岩見沢市教育委員会ホームページ

<http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/main/index.html>

いわなび

岩見沢市生涯学習センター

オープン

岩見沢市生涯学習センター「いわなび」は、空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢市働く婦人の家の3施設の老朽化に伴い、生涯学習の拠点としての機能の充実を目指して整備が進められ、今年3月に完成しました。

4月1日にオープンしてから、まだ1か月と少ししか経過していませんが、4月の利用者が9317人に達するなど、個人・団体を問わず、たくさんの方の



皆さんにご利用いただいています。

取材に訪れたのは平日(4月25日)の午前中だったにもかかわらず、各部屋では様々な活動が行われていました。今号ではその一部を紹介いたします。

▽1階の親子学習室では、子育て学習サークル「どんぐり」の皆さんが紙芝居の読み聞かせをしていました。小さい子どもを持つ親同士での情報交換をお



話を聞



ききました。



きました。

育ての不安を少しでもやわらげられるように月に2回集まっているとのこと。部屋が明るく開放的でよいと

いってみると、部屋が細長いのでピアノの位置を工夫すればもっと使いやすいくなるのではとの提案が。同センターの職員に相談したところ、検討してもらえらることになりました。



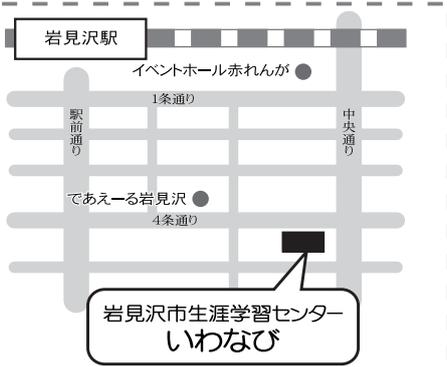
好評だと話してくれました。

▽3階にある音楽室の扉を開けると、合唱サークル「リーダー・クラウン」の皆さんの美しいハーモニーが聞こえてきました。

これらのほか同センターには、いろいろな調理器具を備えた料理講習室、茶道などに利用できる和室、剣道をはじめ武道に利用できる武道場などもあります。

また、各階に授乳室やオストメイト対応トイレも設置

されており、子育て中の皆さんや体の不自由な方も安心してご利用いただけます。ぜひお気軽にご利用ください。



住所 : 岩見沢市4条西1丁目3番地4
 電話番号 : 0126-24-2333
 FAX 番号 : 0126-24-2334
 Email : tokimeki@iwanabi.com
 HP : http://iwanabi.com/
 駐車場 : 地下に43台、
 地上に障がい者用3台
 駐車料金 : 施設利用者は3時間まで無料
 3時間を超えると30分ごとに100円



郷土科学館で 楽しく学ぼう



岩見沢郷土科学館は、市民の皆さんが、科学実験や楽しい創作活動、自然とのふれあいを通し、心豊かに生きるために科学への興味関心を高め、科学する心を育んでいただけけるような事業を行っています。

7月11日(木)・12日(金)には、隣接するいわみざわ公園バラ園ではらサミットが開催され、これにあわせてさまざまなイベントも予定されています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

郷土科学館には、歴史や科学を学べるコーナーがあるほか、楽しいイベントも行われています。今号ではその一部を紹介します。

収蔵展示室

市民の皆さんからご寄贈いただいた、開拓期からの農機具、炭鉱の開発とともに発展した鉄道姿や入植初期から始まった師弟教育から学校教育への変遷、入植時から昭和初期までの

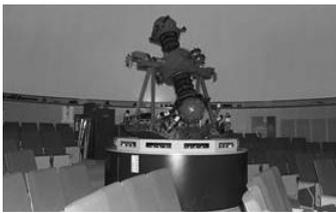
人々の生活を物語る様々な用具が展示されています。また、岩



見沢の昔を教えてください。地図や文化財を紹介しています。先人の営みに思いをはせてみませんか。

プラネタリウム

空知管内で唯一のプラネタリウムで、ドームの直径が12メートル、座席数100を誇ります。星が美しく映し出される光学式プラネタリウムと、動画が楽しいデジタルプラネタリウムがあり、銀河系の四季折々の星と美しい星座や星雲、ギリシャ神話をアニメーションで紹介



しています。宇宙の神秘をお楽しみいただけます。

主催事業

(1) ペットボトルロケットづくり



北電の皆さんが講師となり、ペットボトルで水ロケットを作って飛ばしました。勢いよく飛んでいくロケットに大歓声が沸きます。この他に、ソーラーカーづくりなどの科学に関する事業や万華鏡づくりなどの創作に関する事業、自然とふれあふ事業、科学に関するパネル展などを行っています。科学離れといわれている子どもたちですが、少しでも興味関心を高めてほしいと願っています。



です。少しでも興味関心を高めてほしいと願っています。

(2) 科学館まつり

毎年3月の中旬に、郷土科学館で行った1年間の科

学教室や創作教室の集大成として、科学のコーナー・創作のコーナー・遊びのコーナーなど、様々なコーナーを設けて、たくさんの方の親子の皆さんに楽しんでいただいています。郷土科学館は、冬になると子どもたちだけではない場所になりますが、この日は楽しそうな声が響き渡ります。ぜひ一度参加してみてください。



住所：〒068-0833
岩見沢市志文町 809 番地 1
電話：0126-23-7170
メール：kagaku@i-hamanasu.jp
HP：http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/bunka/kagaku/index.html



教育委員会

各課の紹介

教育委員会の6つの課を順に紹介するコーナーの最終回です。

教育委員会を少しでも身近に感じてもらえればと思います。

学校給食課

学校給食課は、市内小中学校25校に学校給食を提供するとともに、併せてスクールの運行管理を行っています。

学校給食は、「児童生徒のみなさんの健全な育成」を基本目標として、給食指導をとおして学校生活を豊かにし、社交性を養いながら、生涯にわたる健康づくりの基礎となることを願っています。

施され、飽食の時代といわれる現代社会において



では栄養の偏りが心配されるなど、学校給食が担う役割はますます重要になっています。このようなことから、調理所と学校及び家庭との連携を一層深め、楽しい食事を

をとおして、望ましい食習慣や好ましい人間関係を形成するため、学校給食の充実を目指しています。

学校給食課では、職員と調理作業及び配送作業を請け負う会社が一丸となり、「より一層安全・安心でおいしい給食を提供」するため、①食器、保温食缶の計画的な更新、②給食を温かいまま学校へ届けられるよう配送時間の短縮、③地元産食材を使用した献立の充実、④衛生管理や調理業務

のより専門的な知識の導入などに取り組んでいます。



また、岩見沢産の食材を積極的に使用し生きた学習教材として活用したり、栄養教諭が学校を訪問したりするなど、食育指導の実施・充実を進めています。

なお、本年度は新しい学校給食の調理施設整備に向けた準備を進めていく予定です。

指導室

指導室は、子どもたちや学校の先生方と直接的に関わって、岩見沢市の教育の充実・推進に努めています。そのため「学校での生活や勉強のことすべて」が指導室の担当となります。そう考えると、教育委員会の中で『一番学校に近いところ』と言えるかもしれません。

具体的には、「児童生徒の生活や学習にかかわること」、
「教職員の授業研究や研修にかかわること」を中心、特別支援教育、学校評価、外国語指導助手（ALT）、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・心の教室



相談員による教育相談活動などを担当しています。また、地域と学校を結ぶ「学校・地域元気アップ支援事業」も指導室の担当です。

関連する機関である北海道教育大学岩見沢校構内にある「教育研究所」では、岩見沢市の教育をよりよいものにするための研究や調査を行っています。同じく「学校適応指導教室（通称・レインボーくらぶ）」では、様々な理由から学校に行くことができない児童生

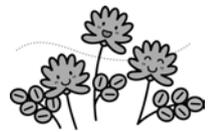
徒に対して、個に応じた学習支援などを行っています。

指導室、教育研究所、学校適応指導教室では、保護者や児童生徒からの相談にも対応しています。お子さんのこと、学校のこと、いつでもご相談ください。



「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」のため、指導室は『笑顔』でがんばります。

特色ある教育活動



・学校自慢



市内26の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

地域と連携し、緑に包まれた学習環境

北村小学校

小規模のメリットを活かして

上幌向中学校

①地域との連携教育

(1) 学校田を利用した稲作体験学習

郷土の基幹産業である稲作を教材に、市・地域住民・関係機関の協力の下、実施しています。田んぼを学びの場として活用し、体験的な活動を多く取り入れています。活動を通して、稲作に従事する父母・祖父母の苦労や喜び、勤労の大切さに気づき、一人一人の子供たちが稲作に誇りをもち、郷土を見直し愛する心が育つことを願い実践しています。



田植え

平方メートル（東京ドーム1・8個分）を誇り、300

メートルトラック、ソフトボール場、芝のサッカーグラウンド2面、丘、学校観察林、学校田も設置されるなど、花と樹木による環境整備がなされています。

(2) 北村小アートギャラリー

全道の著名な画家・書家より寄贈いただいた作品を展示。作品数119点、内訳は絵画57点、版画31点、書16点、水墨画2点、組み木細工2点、その他11点となっています。芸術作品が子どもたちの生活空間に日常的にあることによる情操面での効果を期待しています。



廊下壁面の書画

(1) 広大な敷地
敷地面積は8万3867

② 緑に包まれた教育環境

本校は全校生徒60名という少人数をメリットと考え、学年内のつながりだけでなく学年をこえた縦のつながりも大切にしながら次のような教育活動を推進しています。

① 校内陸上記録会



個人種目だけでなく、各学年を縦割りにした2つのチームで団体種目（おかりレー、長縄跳び、全員リレーなど）に取り組み、3年生を中心に学年をこえて協力することや、まとまることの大切さを学んでいます。縦割り方式にしたことで上級学年のリードする意識が高まり、今まで以上に先

② 席書大会

地域のの方に講師を依頼し、全校あげて2月に実施しています。心を鎮め、集中して取り組んでいます。題材は学年ごとに違いますが（3年「友好の精神」、2年「美しい自然」、1年「新たな決意」）が、ここでも学年をこえてそれぞれ一人ひとりの良さを見つめ直し、刺激し合うきっかけとなっています。



輩後輩のつながりも深まるなど、学校が更に一つになることのできるきっかけとなっています。

チーム岩小PTA

岩見沢小学校は、昨年度、校舎建替えに伴い旧校舎が解体されました。岩小PTAとしては、旧校舎を使って『今まで経験したことがない』ことを子どもたちに経験させたいと考えました。

1回目は、プールを使っての「ヤマベつかみどり」です。保護者を合わせて200名以上の参加を頂き大成功でした。子どもたちの笑顔もちらんのこと、保護者の皆様の喜んでる姿は今でも深く印象に残っています。



ヤマベつかみどり

2回目は、旧校舎全体を使っての「岩小横断ウルトラクイズ」です。旧校舎内いたるところに岩小の歴史や旧校舎にまつわるクイズをち

りばめ、親子ペアになつて旧校舎を走り回っていたできました。



岩小横断ウルトラクイズ

例年の活動の他に、このようなイベントを通して、子どもたちの笑顔あふれる姿に触れ、保護者として子どもたちの成長を感じることもできる日々を送らせていただきました。また、旧校舎の「一般開放」や校舎の引越にも協力し、PTA活動を通してより強固な「チーム岩小」を感じることができました。



例年行っているバザー

「チーム岩小」を感じることができました。

学校を応援するPTAの取組

～各学校PTAの活動紹介～



今号から市内26の小・中学校・市立高校の単位PTAの活動の様子を順に紹介していきます。

東光中学校PTA活動の様子

東光中学校PTAでは、文化部・生活部・保体部・施設部・各学年部に分かれて活動していただいています。PTAの皆様は大変学校に協力的で、生徒たちの学校生活が充実するように活動していただいています。その活動の一部をご紹介します。

花壇づくり

校庭の花壇づくりをPTA「施設部」が中心となり、行っています。昨年6月5日（火）当日は、生徒もボランティアで参加し素敵な花壇を作り上げました。施設部の皆さんには、その後も定期的に花壇の管理のために来校をいただきました。花壇を通して全校生徒への環境学習や情操教育



育の充実が図られたことに感謝しています。

ミニバレーボール大会

PTA会員の皆様の親睦を深めるために、10月12日（金）、PTAミニバレーボール大会を開催しました。この活動を通して、保護者の皆様と教師が共にかな汗を流すことができ、参加賞や豪華景品？も手にして笑い声の絶えない素敵な大会となりました。当日までの様々なご準備に感謝しています。



ニュースポーツに挑戦しませんか 岩見沢市総合体育館

キンボール（KINBALL）はカナダで生まれたニュースポーツで、「キン」は「運動感覚」という意味です。大きく分けて「コンパティションゲーム」と「リードアップゲーム」の2種類があります。

通常キンボールといえは「コンパティションゲーム」のことを指します。1チームは4名で構成され、ブラック・グレー・ピンクの3チームにより21メートル四方のコートで行います。直径122センチのボール（ナイロン製）を、サーブ権を持ったチームが「オムニキン○○」（○には他チームの色）と指名して打ち、指名されたチームはボールが床に落ちる前に受けます。日本では、7分から10分のピリオドを3ピリオド行います。「オムニキン」とは、「オムニ」はすべての、「キン」という言葉と



「キン」を組み合わせた言葉です。「リードアップゲーム」には、サークルリフティング（1チーム6〜10人ぐらゐ、2チーム以上で、各チームが手をつないでサークルを作り、手以外の体の部位を使ってボールをリフティングし、回数を競います。）など、いくつかの種類があります。指導者や参加者の創意工夫で生み出されるキンボールスポーツに親しむための協調型のゲームで、人数に関係なく高齢者や障がい者、小学校低学年も楽しめます。

道内では、本部がある白老町を中心に広まりつつあり、岩見沢市でも2年前に北村多目的体育館に札幌キンボール協会、北海道キンボールスポーツ連盟の指導者を招いて競技を行いました。ルールが比較的簡単なため、市内小学校でも親子レクリエーションの一環として実施されています。

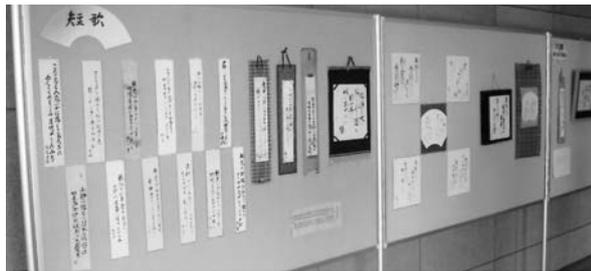
現在、総合体育館に札幌から月2回指導者が来ていますので、みなさんも挑戦してみませんか？



作歌活動と普及について 茂木 草平

現在、文化連盟に加わっている短歌会は、「岩見沢短歌会」（速水あい子代表、会員16名）と「岩見沢きさらぎ短歌会」（茂木草平代表、会員12名）の2団体です。岩見沢短歌会は、5年前に創立五十周年記念歌集を編み、岩見沢きさらぎ短歌会は、今年2月に創立三十周年記念歌集を発刊しました。それ

ぞれ毎月一度歌会を催しており、毎年「市民の文化祭・短歌部門」では両団体が連携して作品展示や歌会を行っています。



市民の文化祭での作品展示

今年度は「道民芸術祭兼空知管内郷土芸術祭」が当市で開催されます。それぞれの会員に積極的に参加するよう啓発活動を進めるとともに、他地域からも大勢の歌友に参加し

ていただけるよう宣伝するなど、担当地区としての諸準備に着手し始めているところと



平成19年度の芸術祭

また、今年6月には、ホテルサンブラザにおいて、岩見沢きさらぎ短歌会主催による「新墾大会」を開催することに決まっています。

短歌（和歌）は、万葉の昔から我が国に根づく、いわば固有の伝統文化です。日常生活の中にある様々な現象や出来事、その時々思いなどを、五・七・五・七・七の三十一文字で表現します。緊張らずに自分なりの言葉で表現すればよいのです。それが「歌は人の真心を表現する」といわれるゆえんでもあります。

近年は、少子高齢化ということで短歌に限らず各分野で同好の士の減少が危惧されています。私たちの短歌会も例外ではありません。短歌は決して難しいものではありません。老いも若きも気軽に入会されることを歓迎します。

みんなで食育

「食育」、最近よく耳にする言葉になりました。食育は生きるうえで、基本であり、知育、徳育、体育の基礎となるものです。平成17年6月には、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるとして、食育することを目的として、食育基本法が制定されています。この法律は、「食」を大切に

する心の欠如、栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加、肥満や生活習慣病の増加などは社会全体の問題であるという、食に関する危機感の高まりから生まれたものです。学習指導要領に食育の推進が盛り込まれるとともに、学校給食においても「健康の保持増進」、「望ましい食習慣」、「伝統的な食文化についての理解」などが目標として位置づけられるなど、食育に取り組む重要性が増しています。

社会環境や食生活が大きく変化しているなか、家庭で子どもたちに十分な「食」の指導を行うことが難しくなるばかりか、保護者自身も望ましい食生活を実践できていない場合も見受けられます。食育を推進するにあたり、第一義的な役割が家庭にあることはもちろんですが、教育委員会としても、学校さらには地域と連携して食育をより効果的に実施していこうと考えています。



教育長室から

学校は子どもたちのためにあります。子どもたちが、「知・徳・体」をバランスよく身につけ、「夢」や「希望」を大きく膨らませて、その実現に向けて、土台作りをするところが学校です。

また、保護者が学校に期待することは、子どもが学校に通って、「勉強ができるようになった」、「友達と仲良く」に元気に学校生活を送れる、

この二つに、大きく集約されると言われています。

この「教育の不易」をしつかりと踏まえ、「学び」、「潤い」、「元気」をキーワードに教育施策を実施し、「市民のために開かれた教育行政」に努めて

子どもが輝く

岩見沢の教育づくり

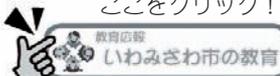


「授業づくり」をより一層推し進めていきたいと考えています。

今年度、岩見沢市は開基130年、市制施行70周年を迎えます。また、ばらサミットも開催されます。子どもたちとともに、この節目をお祝いし、「この街で生まれてよかった」、「この街で学べてよかった」、「この街で生活してよかった」と、子どもたち誰もが思い、「ふるさと岩見沢」に愛着と誇りを持って、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」に、学校・家庭・地域と連携して取り組んでいきますので、ご理解とご支援をよろしくお願ひします。

教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
市教委HPのトップページにある、
このバナーをクリックしてご覧ください。

ここをクリック！



=ご意見・ご要望をおよせください=

<担当> 岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地であえーる岩見沢3階
☎ 0126-35-5123
FAX 0126-25-2995
メール ejyouthou@i-hamanasu.jp

家庭でできる簡単給食レシピ♪ 「マーボー豆腐」

材料(4人分)
豆腐…1丁 生姜 …少々 にんにく…少々 豚ひき肉…140g
人参…40g 竹の子…40g 干し椎茸…3g ごま油 …少々
【合わせ調味料】
三温糖…大さじ1 醤油…大さじ2 テンメンジャン…小さじ1
白みそ…小さじ1 酒 …小さじ2 トウバンジャン…少々 どんぶん…適量

- **作り方**
- ① 豆腐は1cm角に切る。生姜、にんにくはすりおろす。
 - ② 人参、竹の子は千切りにする。干し椎茸は戻して千切りにする。
 - ③ ごま油を熱し、生姜、にんにくを入れて、豚ひき肉を炒める。
 - ④ ③に火がとおったら、人参、竹の子、椎茸を炒める。
 - ⑤ ④に合わせ調味料を入れてさらに炒める。
 - ⑥ ⑤にどんぶんでとろみをつける。
 - ⑦ ⑥に豆腐を入れて、崩れないように炒めてできあがり。

ポイント!

ごはんにかけて「マーボー豆腐丼」にして食べたりと、子どもたちには大好評の献立です。
マーボー豆腐はめんどろな料理と思っ

